

民報 藤島

2015年 7月12日

第1006号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤 鉦一 (宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤 鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお
願っています。民報
配布者にご連絡下さい
(月177円程度)
7月 19人 17,335円
6月 36人 41,347円

榎本市長の「おんぶに抱っこ」発言 ゴミ処理問題で三川町に合併迫る

鶴岡市の榎本市長は2日の定例記者会見で、ゴミ処理問題に関し、三川町長に対し「鶴岡におんぶに抱っこか」と発言。3日の『河北新報』に報じられ、東北一円に拡がりました。(右下欄に記事紹介)。

三川町を子ども扱いにし、対等平等の自治体間における事務の共同処理を「面倒見きれない」などと言って合併を迫るのは、余りにも自己中心的です。三川町は正當に委託料を鶴岡市に払っています。国では効率的なゴミ処理のために広域化による共同処理を進め、

交付金や交付税措置があり、鶴岡市の負担だけではありません。榎本市長の最近の発言は、酒田市との新幹線問題など周辺自治体との対立が目立ちます。



『民報藤島』1000号 おめでとう 大竹周次(鶴岡)

この度の『民報藤島』1000号 本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

とにかく記事がいろんな分野から掲載されており、そして、多くの方が登場していて、非常に親しみが持てま

それが何と何と1000号ですから、驚くしかありません。とにかく記事がいろんな分野から掲載されており、そして、多くの方が登場していて、非常に親しみが持てま



消防団藤島方面隊の消防操法審査会で、ポンプ車の部で優勝した第1分団2部1班(中町)

【河北新報記事】 「鶴岡におんぶに抱っこ」市長、 三川町に合併促す

鶴岡市の榎本政規市長は2日の定例記者会見で、隣接する三川町から委託しているゴミ処理業務に「これからは鶴岡におんぶに抱っこするのよか。10年前に自立を選択した三川町がどうするか、町長が判断してほしい」と述べた。三川町長に対し、約10年前に撤回した合併の再検討を促した形だ。ごみ処理、焼却業務は、2005年10月の鶴岡市と周辺5町村合併を受けて一部事務組合方式を変更、三川町が鶴岡市に委託してきた。市は施設老朽化のため、合併特例債が活用できる20年度までの新焼却施設建設を決めている。

榎本市長は「市の財政が将来厳しくなることを考えれば、人の面倒まで見られなくなる。建設事業費を固めるためにも、2年で決めてほしい」と語った。(河北新報2015年7月3日金曜日付)

その上、レイアウトも工夫され読みやすいし、読み応えもあります。そして何より貴民報は、町政への指針ともなり、町内外に与えた影響は大きく、広い分野で役割を果たしたと思います。

お力の持った方々の連載記事、多くの部数配布などチーム力、これまた感謝です。地区内いちばん忙しい方々です。どうぞご自愛の上お励み下さい。

消防操法審査会 藤島方面隊 ポンプ車の部で中町優勝

鶴岡市消防団藤島方面隊(富樫正明隊長)の消防操法審査会が5日、藤島体育館駐車場でおこなわれました。今回は小型ポンプの部では庄内大会出場枠がなく、5分団ごとの選抜操作員による競技とされました。

これまで分団持ち回りだったポンプ車の部では3チームによる競技となり、第1分団2部1班(中町)が優勝し、8月2日開催の庄内大会に出場します。

平成27年度藤島消防操法審査会(7/5)

1. ポンプ車の部		2. 小型ポンプの部	
順位	出場チーム	順位	出場チーム
1	1-2-1 (中町)	1	4分団(長・八)
2	4-3-1 (表小路)	2	1分団(藤島1)
3	3-3-3 (川尻)	3	2分団(藤島2)
		4	3分団(東栄)
		5	5分団(渡前)

百田尚樹氏は まともな作家？

(新町 T・S)

安倍総理のお友達と言われる作家？の百田尚樹氏の言葉には開いた口が塞がりません。今回の発言を報道で知り、出版言論界に身を置いてご飯を食べている方とは到底思えませんでした。

私は彼の本は読んだことはありませんが、2年位前上映された「永遠のゼロ」の作品を彼が書いたのは戦争ほど悲惨なものはないと訴えるためかと思っておりました。がとんでもない勘違いをしております。

昨年亡くなった山崎豊子さんは、大地の子・二つの祖国・不毛地帯等の太平洋戦争関連長編小説を残しておりますが、書くにあたって資料集めや現地調査等に大変な労力を要したと記しておりましたが、百田さんも少しは見習ったらどうでしょうか。

それとも内容よりまたまた安倍晋三氏のような方が総理大臣になったから映画化されただけだったのでしょうか。

このような方をいくら友達だからとはいえずNHKという国民の受信料で運営されている放送局に経営委員として送り込んだ安倍晋三氏の罪は大きいと思います。

百田氏もまともな作家として、また新島謙氏(NHK大河ドラマ「八重の桜」で八重の夫が創設した伝統ある学校の出身者として後の世に引き継がれたと思うなら、今までの言動を振り返ってみる必要があると思います。

伯母は戦時中看護婦として働いていたために戦争が終わったからといって直ぐに引き揚げる事は出来なかったと、先日送ってくれた手紙に書いてありました。

お世話になった中国人に日本軍は申し訳ない事をしたという事で満州に残った若い方が沢山いたそうです。中国は日本との戦争が終わってから内戦で混乱状態でしたが、八路軍(今の中国人民解放軍)の兵隊は嚴重に守ってくれてとても親切にしてくれたそうです。昭和30年頃にやっと帰国しましたが、青春を奪われた上その後の人生をも狂わせた戦争は絶対ダメと訴えておりました。

平家物語ではありませんが「奢れるもの久しからず」です。

阿刀田 高さん、來鶴講演 と赤旗日曜版登場

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

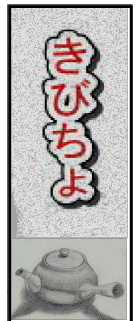
今年鶴岡市立図書館100周年で一連の記念事業が組まれている。8月17日(13時30分)・於中央公民館は、



しんぶん赤旗日曜版 7月5日付

阿刀田(あとうだ)さんが「周平もひさしも読書はおもしろいぞ」と題し講演する。赤旗日曜版7月5日号「ひと」欄にも登場、「昔は、小説はおもしろければいいのだという感じがありませんが、現代社会を見ていると、これは発言せねばならんだらうという思いが濃くなってきました。今回は、はつきり主張が出ている作品も入っ

ています」と最近出版の短編集『地下水路の夜』のことを語っている。また、「戦後の大改革をやるという総理大臣が、ポツダム宣言を読んでいないと言ったり、信じられない思いです。安保法制でも、総理大臣である自分が言うのだから心配ないというが、数年後に別の人が総理になって、そんな解釈できないと言いだしたらどうするか。国民に憲法改正を問うてやるべきこ



県三曲演奏会

2年ごとに開かれ7回目となる県三曲演奏会が5日、山形市中央公民館で開かれたのに参加させてもらった。中央公民館と名がつけば一つの建物を思うのだが、ここはアズという建物にあるのだった。

▼三曲演奏会とは、琴・三味線・尺八を楽しんでる県内のグループ全てが参加するもので、知事の祝辞がプログラムにあり、芸術文化協会会長のご挨拶が前夜祭にありました。

▼前日にはいつものようにリハーサルと前夜祭がある。ここで一言を、と呼ばれた男性は、60回という会も開かれるよう頑張ると語れば、88歳を過ぎたという男性は、16歳で海軍に志願した、何かがあれば罰として野球ならばホームランになるであろう振り方でケツが殴られるものであったこと。

とをやらなくて、(解釈)という姑息(こそく)な手段で進めようとしていることが一番問題です」とも。 国立国会図書館司書を経て執筆活動、短編集『ナポレオン狂』で直木賞受賞、短編の名手と呼ばれている。現在は山梨県立図書館長も務め、図書館員は工(サイクロペディア(百科事典)なんですと言。講演が楽しみである。

これを罰直(バツチ)と言ひ(ハツター)とも言ひ、顔を殴るのはピンタ、その棒を海軍精神注入棒と言ったという。平和だから尺八が吹けるのだから元気で頑張りたいと語った。

▼5日の当日は、大きなホールに多くの県市民が見に来てくれ、関係者の大きな励みになったものです。

▼話は変わりますが、尺八は退職を機に60の手習いとして始めたもので、習っているのは琴古流で竹友会(佐藤晃||竹号・晃馨||会長)という鶴岡のグループです。

▼この「竹友」という名は川瀬順輔という初代が「師」に頂いた号だというのでした。初代のその人は、山形市鉄砲町に明治に生まれた人で、県庁の職員の時尺八の音色にオドロキ修業に入ったのだという。県内の琴古流の有志が建てた顕彰碑が七日町の明善寺にありました。新たな知識になりました。(石川)